

再稼働許さない

強まる再稼働圧力

東京電力は1月13日、7号機の再稼働に向けた新規制基準に基づく安全対策工事が完了したと発表。6月には原子炉起動前に必要な検査を終える予定で、規制委のチェックを通れば技術的には現行法に照らしての再稼働が可能となります。

今後は、地元自治体（新潟県、柏崎市、刈羽村）が同意するかどうかが焦点となってきます。こうした中、経産省資源エネルギー庁長官らが度々来県し、花角知事や県議会自民党派と接触したり、東京商工会議所の三村会頭が柏崎刈羽原発を視察し「前に進むよう期待したい」と語るなど再稼働推進の動きが強まっています。また、県議会で自民党の柄沢正三議員は、検証総括委員長池内了氏の「報告書に再稼働の是非を示す」（県民の意見を聞く）タウンミーティングを開く」などの発言をとりあげ、「越権行為だ」と県の見解を質し、罷免要求にまで言及しています。

花角知事に強く求めます

①各検証委員会の徹底した検証作業を保障すること ②検証途中での技術委員会委員の不再任方針を撤回し全員を再任すること ③県民の意思を汲みつくす手立てと機会を明らかにすること

期限を区切らず徹底した検証を語っていた花角知事。しかし昨年12月22日の避難委員会では、避難委の役割は抽出した課題の整理までとし、その課題にどう対応するかは避難委でなく県が検討するので年度内に論点整理を終えるよう提案。また1月に入り県は突然、技術委員会の半数の委員を高年齢などを理由に再任しない方針を公表。柏崎刈羽原発の安全性議論が続く最も重要な時期の花角知事のこうした方針は到底納得できるものではありません。



力を合わせ行動しましょう！

◎東電による住民説明会に参加しよう

- ◇日時：2月8日（月）午後6時～8時
- ◇会場：長岡リリックホール *先着順200名

◎3・11福島原発事故から10年

- 集会&パレードに声かけあつてご参加を！
- ◇日時：3月11日（木）午後2時30分～
- ◇会場：アオーレ長岡ナカドマ
- ※詳しくは同封のチラシをご覧ください。

◎毎月行っている11日行動にご参加を

- ◇日時：2月11日（木・休）12時～12時半
- ◇場所：アオーレ前

◎県や市への申し入れ活動を行っていきます

※他の原発市民団体と協力し協議・準備を進めています。

◎原発についてあなたの思いや願いをご家族・友人・知人と語り合いましょ

- ◎SNS・投書・ハガキなど様々な手段で、再稼働NO！を発信しましょう

これ以上核のゴミを増やしてはなりません